

「ステイホーム」を応援。子どもの成長・発達を促すあそびを明星大学星山麻木教授と紹介 動画コンテンツ「PLAYFUN — ミュージックムーブメント」を 5月8日(金)より配信開始

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、明星大学教育学部教授・保健学博士 星山麻木先生と協業し、自宅で簡単にできる“あそびのヒント”を紹介する動画コンテンツ「PLAYFUN — ミュージックムーブメント」を、5月8日(金)より、4回シリーズで無料配信します。

幼稚園や小学校が臨時休園・休校となり外出自粛が続くなか、乳幼児や小学生を持つご家庭では自宅でのように過ごすか悩んでいるという声も多く聞かれます。本企画は、星山先生の、「ステイホーム」で子育てをがんばっている親子の力になりたいという願いに、当社が賛同したことから実現しました。動画は、YouTube のボーネルンド公式チャンネル(<https://www.youtube.com/user/BorneLund>)のほか、ボーネルンド公式 LINE 発信のタイムライン、Facebook、Instagram(IGTV)にて視聴いただけます。

お届けするコンテンツは、星山先生が 30 年以上の子どもの発達・発育の研究をもとに、曲、歌、遊び方などすべてをオリジナルで開発したものです。ボーネルンドのあそび道具を使用してプレイリーダーがプログラムを実践し、星山先生が、あそびの中で生まれる動作やコミュニケーションが子どもの成長や発達にどのように役立つのかについて解説します。動画を観ながら親子で楽しく遊び、子どもが健やかに育つ機会になり、そして親御さんは子どものあそびの成長発達における意味を理解できる内容です。

5月8日(金)配信のテーマは、3歳児向けの「パパとできる空間遊び」。両足の下をくぐる、円を描くように走る、頭の上からボールを転がすなどのからだ遊びを紹介します。「前後・左右・上下・まわり・斜め」といった空間に関する言葉を、自身のからだを動かして体験し、字を書いたり、図形を認識したりする力の基礎になる「空間の概念」を楽しみながら育むことができます。

「PLAYFUN — ミュージックムーブメント」は、5月から6月にかけて合計4本を配信。3歳児向け2本、0歳児向け1本、3~5歳児向け1本の予定です。今後は、お家にいながらにして、他の子どもと一緒に遊びたいというニーズを満たせるよう、同シリーズのオンラインワークショップ有料開催も計画しています。

当社ではあそびのプロ「プレイリーダー」がおすすめするあそびを紹介する動画コンテンツ「プレイリーダーがお届け! あそびのヒント」を、3月3日より日々配信しています(本日時点で66本)。今回の星山先生との取り組みなど、今後も様々な活動を通して、子どもの健やかな成長を応援してまいります。



【明星大学教育学部 星山麻木教授】

東京大学大学院医学系研究科(母子保健学)博士課程修了。保健学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。一般社団法人子ども家族早期発達支援学会会長、星と虹色な子どもたち代表。NHK Eテレ すくすく子育て、うわさの保護者会、発達障害の子どもたちとともに 監修出演など。親子で多様性の理解やサポートを学べる絵本「星と虹色な子どもたち」が5月1日に発売された。



【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 78 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国 21 ヶ所、年間約 277 万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 30 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報室 担当:村上

TEL:03-5785-0860、080-5901-3591 e-mail:public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド TEL:0120-358-518(月～金 10:00～17:00)